

事業所名	グループホーム みやまの里
ユニット名	

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の方々、施設的全職員は理念を共有しつつ実践につなげております。	理念は、職員全員で考えました。家族のように信頼をもってもらえるように日々接しています。理念は、廊下に掲示されています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事は利用者の皆様が参加したり、日常は声かけをして下さり、なるべく散歩などして交流をはかっています。	自治会に加入し、自治会の行事に参加しています。どんと焼き、防災訓練などの参加し、神社のお祭り際には、神輿が休憩し、豚汁を作ってふるまっています。近隣の方が散歩の時など飲み物をくれたり、散歩に連れて行ってくれたりしています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	田舎の施設ゆえ、いろいろと地域の認知症の方々をまじえた支援に活かしています。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議も利用者の全員の状態を評価しつつサービスの向上に活かしています。	年4回開催されています。松田町役場の職員、自治会長、民生委員が参加し、地域の情報交換や自治会の行事の連絡などがあります。こちらの情報を伝えるなどし、地域との繋がりを深めています。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	町とは常に連絡を密に取り、積極的に協力をして取り組んでいます。	役場の生活保護担当者とは相談・報告等を絶えず行っています。神奈川県足柄上保健福祉事務所主催の研修会や小田原市認知症高齢者グループホーム連絡会合同研修会に積極的に参加しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	話し合いをしながら指定基準サービスにおける禁止の対象となる行為はしてありません。	玄関の施錠はしていませんが、身体拘束についてのマニュアル等が整えられていません。研修等においての職員への周知に関する記録がありません。	身体拘束についてのマニュアル等の整備と研修への取り組みが期待されます。
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待などありません。見すごしのない様注意。防止につとめています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	活用できるよう支援しております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	しっかり説明し納得をえて、事務は進めております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見、要望は話し合い、それらを運営に反映しています。	利用者も4人、職員も家族で、利用者の傍に24時間いる状態です。利用者の状態を、詳細に見守り日誌、口頭により管理者に必ず報告があり、職員はすべての情報を共有しています。体調の急変等は即ホームドクターに連絡しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	つねに反映させている。毎日のようにいろいろな意見を聞く機会があります。	職員の介護に関する意見（洗面所の棚の設置、新製品のモップなどの購入）などは、即決定しています。利用者からの要望は殆どありません。毎日打ち合わせを行い、介護の上で気づいた事などは（入浴時、食事の様子）全員で共有しています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場環境、条件や整備につとめています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修を受ける機会を確保し、実践に向けています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	年に何回か他の施設の方との交流。交流する機会には必ず何人か参加しています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	むずかしい事なんですけどもやっぱりがいが有り本人の安心感がつたわる事がとってもうれしいと（職員の話）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	22年10月1日入居の方、家族の方とはつねに連絡を取り、良い関係作りが出来ました。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	努めています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共有することにつとめ、暮らしやすい様、関係を築いています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人・家族といつも同様に支援しています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	支援に努めています。	散歩などで知り合った近隣の人が利用者を名前で呼び、訪ねて来ています。利用者を家族と同じように訪問してきた人と一諸に食事をしています。近隣のスーパーで買い物をしたり、地域住民の一員として地域に溶けこんでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日全員での関わりを持つよう、孤立をさけ支え合えるよう支援に努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	何人かの家族とはおつき合いがあり、他の利用者の方々にもとってもしっかりと頂けています。相談や支援を大切にしています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人大切な生活のリズムや思いを常に検討しつつ努力しています。	現在は利用者が4名で家族のように管理者家族が支援しています。利用者一人ひとりの個性に合わせ、絶えず利用者の様子を観察し、寄り添いながら表情、しぐさからやりたい事などを察し、意向の把握に努めています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	現状に即した介護設計を作成しています。	管理者、介護職員の見守りが濃密で、利用者、職員にお互いの気持ちが通じています。利用者の楽しみは自然に溢れた山里での散歩、野菜づくり、買い物、外での食事、温泉などで、日々の気候、体調に合わせ、ケアプランを作成しています。	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	活かしております。日々の様子は常にケアに入れ話し合いながら実践しています。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	ニーズに合せ対応し、サービスの多機能化に取り組んでいます。		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	支援しています。		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	月2回の往診を受けております。	協力医の内科は隔週ごとに訪問してくれます。歯科医、眼科など必要な時に受診できるよう支援しています。寄（やどりぎ）は、861戸、人口2,403人（H21）で、医療機関も住民も、利用者をよく知っていて、健康や生活に気を配っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	情報はそのつど看護師なり先生に相談し、適切な看護を受けています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	行っています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	支援に取り組んでいます。	過去2人看取りをした実績があります。家族がいる方とは、重度化の場合に向けての対応について話し合っています。今後も受け入れる予定ですが、看取り時の介護マニュアル、家族との取り決めの文書はありません。	重度化は、避けられない事柄です。重度化に向けての介護方法、医療機関との連携、マニュアル作り、協議の文書の作成等が必要になります。早い段階からの着手が期待されます。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	クリニックと応急手当を聞きながら対応している。定期的実践を身につける様に努力しています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	協力体制は築いています。年2回消防署との災害対策の訓練をしている。	「緊急時の対応」などのマニュアルを整備しています。避難訓練は年2階実施し、次回は約1ヵ月後4月30日に予定しています。緊急用具は、リュックにいれ、すぐに持ちだせるようにしています。	22年度の避難訓練は、約1年と間隔が空いてしまいましたが、利用者の高齢化による体力低下を考慮し定期的な訓練で状況の変化に合わせた対応の把握と、意識的な備蓄も心掛けた仕組みが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	しています。	「個人情報保護に関する指針」を作成し、掲示しています。神奈川県に「個人情報取扱業務登録」を行っています。家族と同様に自然体で接し、生活の支援をしています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活は本人の思う様な生活をしています。自己決定です。	/	/
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしいペースで生活しています。	/	/
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	手助けをしながらおしゃれをしています。	/	/
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日それが楽しみですので、一緒に出来る人は手伝ってわいわいしています。	畑で採れた野菜を使い、利用者の希望に応じながら、栄養のバランスを考え献立を考えています。四季折々の季節に応じた料理を民宿を運営していた法人代表者が腕によりを掛けて手作りして提供しています。利用者と一緒に食事を作る時もあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	応じた支援をしています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人の力に応じた口腔ケアをしています。できない方は支援します。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自立に向けいろいろなやり方を活かし支援しています。	病院や施設でオムツを使用していた利用者をきめ細かく支援し、オムツが取れています。夜は、居室にポータブルトイレを用意し自立に向けた支援をしています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食べものやのみもの、いつも工夫し運動への働きかけ、個々に応じた取り組んでいます。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は全員大好きです。夜中の入浴もあります。	民宿だったころの浴室が2カ所あり、1カ所は24時間風呂でいつでも入浴ができる体制を整えています。その他にリフト浴がある浴室も増築し、利用者に合わせている事が出来ています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	確認しながら、服薬の支援は気をつけながら努めています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日が楽しい日であるよう、食や気分転換等に気を使い支援しています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出は買い物や（スーパー）地域の土曜市に出かけています。	散歩は毎日のように出かけています。外出の機会を多くするように計画を立てています。職員と一緒に買い物に行ったり、ドライブ、花見などに外出しています。近隣の温泉には利用者1人につき、2ヶ月に1度は行っています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	支援しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫しております。	廊下には、行事の写真を飾っています。大広間には、季節の飾り物の雛飾りやつるし雛などを飾って、生活感や季節感を取入れ心地よく過ごせるような工夫をしています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	部屋も自由に行ききしていますし、一緒にテレビを見たりして手を（相撲等）たたいて喜んだりしています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫しています。	居室は民宿時の客室であった為広く、畳10畳と窓際には旅館を感じさせる板の間のスペースがあります。部屋一面の窓からは、四季の景色が眺められ、桜の開花や山の芽吹きが感じられます。調度品は、以前使っていた馴染みのものを運び入れています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自由に生活しておられます。安全な環境を作ることを心がけています。		

目標達成計画

作成日：平成23年5月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束について、現在一人 目・耳・手が不自由で普通の生活が出来ず、夜昼関わらず生活が乱れていられる。	マニュアル通りにはいかないが、昼の生活が出来、夜は眠って頂く様に行きたい。	日中は起きている生活を作る。ベットをたたむとか、外へ出ている時間を多くする。入浴を夜の寝る前に入ってもらう等。	6ヶ月
2	12	重度化 終末期に向けた支援	マニュアルを作り文章を作成し、医療機関との連携を計り、介護に取り組む。	医療機関との連携で話し合い、具体的に文章を作成します。	3ヶ月
3	13	22年度、避難訓練 年2度が一度届出がしてなく	23年4月30日に22年度分として届出ました。年2階は必ず実行する。	4月30日に実行致しました。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。